

をいただき、その後のシンポジウムでは昨年の豪雨災害を踏まえた活発な発表と討議が行われました。ランチオンセミナーでは、岡山赤十字病院精神神経科部長の中島 誠先生より「災害と認知症」をテーマにご講演いただきました。その他、一般演題7題、要望演題2題、ポスター発表5題、クリティカルパス展示4題の発表がございました。

本学術集会開催にあたり、多くのご支援、ご協力をいただきました皆様に心より感謝申し上げます。

第13回三重支部学術集会

学術集会会長：伊勢赤十字病院院長 楠田 司

2019年10月5日(土)三重中央医療センターにおいて“負担の軽減”をテーマに第13回三重支部学術集会を開催しました。103名の参加があり、さまざまな部署から、負担軽減に向けての発表があり、活発な討論がなされました。



会場風景

また、特別講演では、万協製薬株式会社社長の松浦信男氏をお招きし、「万協製薬における働き方改革～ピラミッド型組織から、逆ピラミッド組織を目指して～」と題してご講演いただきました。万協製薬は阪神淡路大震災で壊滅的な被害を受け三重県に移転し、その後急成長した会社で、これまで「男女がいきいきと働いている企業」選考委員会奨励賞や日本経営品質賞など多くの経営に関する賞を受賞してきました。松浦社長から、働きやすい職場へのさまざまな独自の取り組みを軽妙な口調でご講演いただき、医療界における働き方改革や組織作りに大きなヒントを与えていただきました。

最後に本学術集会開催にあたり、ご協力を賜りました関係各位に深く感謝申し上げます。

第19回栃木支部学術集会

学術集会会長：済生会宇都宮病院院長 小林健二

2019年10月19日(土)、第19回日本医療マネジメント学会栃木支部学術集会を「入退院支援で地域医療をつなぐ～生活を支えるチーム医療～」をテーマに開催しました。会場の済生会宇都宮病院 講堂みやのわホールには、県内の各施設から約170名が集まりました。

特別講演では、九段坂病院地域医療連携部副部長退院支援看護師の高橋 由利子先生が「地域包括ケアの実現に向けた入退院支援～その方の想いをつなぐ～」と題し演述。自身の病院における“地域づくり”の事例を紹介くださいました。

その後は、高橋先生と5名のパネリスト(在宅医療、在宅看護、介護支援、行政、救急医療)によるディスカッションが行われました。各々の立場で感じる問題点を共有し、解決に向けて積極的に顔を出し、手を取り合うことの重要性が話し合われました。

また、ポスター演題10題も展示され、会場は活発な議論やコミュニケーションで盛り上がりを見せていました。

当日参加いただいた方々、開催に当たりご支援いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

第10回愛媛県支部学術集会

学術集会会長：愛媛医療生活協同組合愛媛生協病院院長 今村高暢

2019年11月3日(日：文化の日)、愛媛生協病院において第10回日本医療マネジメント学会愛媛県支部学術集会が開催されました。



会場風景

「ヘルス・プロモーションの視点から考える地域包括ケア」をテーマに掲げ、県内各地から151名の参加をいただきました。

今回は、特別講演に順天堂大学大学院医学研究科 医学教育学教授 武田裕子先生をお迎えし、「格差時代のヘルス・プロモーションー包摂する地域づくりに果たす病院の役割ー」と題して講演をいただきました。

一般演題は午前午後の8セッションで32演題の発表があり、愛媛県下の多くの病院の取り組みが紹介され活発な討論が行われました。

発表内容のクオリティーが年々高まっており、本学術集会が愛媛県下の病院のマネジメントに一定の貢献を果たしてきていると感じられました。

本会を盛会に開催できましたのは、武田裕子先生はじめ多くのご発表をいただいたみなさま、役員のみなさまのご支援の賜物です。深く感謝いたします。

第18回山口支部学術集会

学術集会会長：済生会山口総合病院院長 城甲啓治

2019年11月16日(土)山口市の山口県総合保健会館において第18回山口県支部学術集会を開催し、269名の参加を頂きました。本学術集会ではテーマを「私たちの働き方改革」とし、一般演題として口演8題、ポスター8題の他、特別講演およびシンポジウムを行いました。

特別講演では済生会福岡総合病院名誉院長岡留 健一郎先生をお招きして「医師の働き方改革ー2024年に向けてー」と題し、医師の時間外短縮に関する考え方や全国で行われている好事例についてご講演